



横田の

政治 SEIJI's REPORT せいじ りぽーと



第11号

Challenge your future!

横田せいじのプロフィール

- 自己紹介 ○生年月日 昭和55年5月13日(41歳)
高岡市内生まれ、美幸町在住
- 経歴 ○趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書
- 川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
- 平成15年 高岡市役所入庁
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
- 平成24年 高岡市役所退職
- 平成25年 高岡市議会議員(初当選)
- 平成29年 高岡市議会議員(2期目)
- 市議会等での役職
- 議会運営委員会 副委員長
 - 総務文教常任委員会 委員
 - 港湾・公共交通対策特別委員会 委員
 - 広報広聴委員会 委員長
 - 議会改革検討委員会 委員
 - 高岡地区広域圏事務組合議会 議員
 - 議会会派「自由民主党高岡市議会議員会」 政務調査会長(詳細はトピックス参照)
- 現役職資格等
- 全国若手市議会議員の会会員 (2019-2020年度北信越ブロック代表)
 - 富山県飲食業生活衛生同業組合高岡支部顧問
 - 遼寧ファン倶楽部会員
 - 公益財団法人高岡市体育協会理事
 - 高岡調理師会顧問
 - 高岡市スキー連盟副会長
 - 高岡市相撲連盟副会長
 - 高岡市消防団広報編集委員会委員 (平成30年度)
 - 高岡市消防団和田分団員
 - 高岡市スポーツ推進委員
 - 茶道裏千家淡交会高岡青年部会員
 - 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業運営委員会委員 (平成30年度)
 - 高岡市立西条公民館運営委員会相談役
 - 国境なきUNDOKAI実行委員会監査
 - 万葉大茶会実行委員会2021実行委員長
 - 令和2年度高岡青年コミュニティ会議議長
 - 令和3年度高岡商工会議所青年部会員開発委員会副委員長
 - 高岡青年会議所シニアクラブ事務局
 - 第30回ホームタウン実行委員長
 - 高岡カラコルムクラブ会員
 - South Takaoka Gunners FC相談役
 - 南西リーグスポーツ少年団野球大会副会長
 - 高岡西部スポーツ少年団育成会副会長
 - 高岡西部スポーツ少年団育成会野球部顧問
 - 西条校区青少年指導委員会顧問
 - 西条校下体育振興会役員
 - 西条校下社会福祉協議会顧問
 - 国条橋運動広場管理協力会事務局員
 - 国条橋パークゴルフクラブ顧問
 - 美幸町自治会相談役
 - 美幸町高齢者見守り隊事務局長兼会計
 - 内免神明獅子舞保存会員
 - 高岡第一高等学校第38回生同窓会長
 - 高岡西部中学校同窓会副会長
 - 国際空手道連盟極真会館式段、審判資格
 - (財)日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
 - 自由民主党富山県第二選挙区支部青年部長
 - 自由民主党富山県支部連合会青年局長
 - 自由民主党高岡市連合支部政務調査会長
 - 自由民主党高岡市連合支部青年局長
 - 併慶 古村勇人富山後援会事務局員
 - 映画「デンサン」実行委員会副会長

最新情報はこちらから

検索 | 横田 せいじ

公式サイト
www.yokotaseiji.net/

facebook
www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/



たかおか市議会だより

Instagram
www.instagram.com/yokotaseiji/



編集・発行：高岡市議会議員
横田せいじ
〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55
TEL：0766-25-4017
FAX：0766-25-4007
E-mail：office@yokotaseiji.net



R2.3.22



R2.6.8



R2.5.14



R2.8.16

上：内免神明町自治会公民館落成式
下：市内青年4団体連携による感染症対策事業
(高岡青年コミュニティ会議議長として企画・実施)

上：議会全6会派でICTを活用した議会運営に係る措置を議長に対し要望
(会派政調会長として、要望及び提案書の作成と、全会派合意に尽力)
下：新型コロナウイルス感染終息及び「第94回富山県青年相撲選手権大会
・第20回富山県小学生相撲優勝大会」開催祈願並びに四股奉納

ごあいさつ

昨年春の第10号発行から1年余りが経過しました。その際、冒頭に新型コロナの件について触れましたが、今もなお感染者が発生し、日常生活や経済活動に深刻な影響を与えています。

ここに、罹患し闘病中である皆さまの早期回復と、亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、ご遺族の皆様に対して、衷心よりお悔やみを申し上げます。

顧みれば、この新型コロナの感染者が富山県内で初確認されたのが、令和2年3月30日ですので、3か年度に渡って感染症との闘いが続いています。これにより多くの被害が生じていますが、キャッシュレス決済の浸透や学校へのタブレット端末配備などが示す通り、10年かかると言われたデジタル化が1年で進んだと言われるなど、人の意識や行動形態、社会システムなどが一変し、各分野において効率化や利便性向上も図られました。

他方、政治の世界では、昨秋の県知事選と今夏の高岡市長選で、保守分裂となる激しい戦いが繰り広げられました。これは、自民党内部から異を唱える動きがあったことなどによるものです。

これらのように、社会の環境や人々の考えなど、あらゆるものが変化を続けています。共通して大切だと言えることは、前例や慣習、常識にとらわれず、そして地位や権力に慢心することなく、守ることと変えることを見極めること、異常事象や異なる意見が出た時に、それを冷静に分析し、人の声に耳を傾け、柔軟に対応しようとする謙虚さや思考力、変化を厭わない考えを常に持つことです。

理想は、権力の座にある、より地位の高い者がそれを体現し、円満な形で現状変更を達成し、円滑に物事を進めることです。そうでなければ、強制的な変更によって混迷を招く事態を誘発しかねません。

これらを踏まえ、改めて申しますが、私は政治の道に進むことを決意した時から「政局より政策」を目指し、初当選させて頂いた平成25年11月の任期開始にあたっては、高岡市議会内で分裂していた自民系の会派が1つにまとまるよう、多数派工作に一切応じない毅然とした態度を取ることから議員活動をはじめて今日に至ります。そして、当該行動が示す通り、対立や混乱、政局による駆け引きは全く望んでいませんし、そうだからこそ、所属の政党や議会会派等の「組織」を大切に、「規律や秩序」を重んじながら、「対話と忍耐」をもとに市勢発展への努力を続けてきました。

以上の考え等を土台とし、自身が考える所属の政党や議会会派に対する問題等に対し、これまで同様、先に述



R2.11.7



R2.12.28



R2.12.1



R3.2.20

上：文化庁日本博事業「令和の万葉大茶会」で大会開催地の小池都知事と
（大会副実行委員長として参画）
下：（公社）高岡青年会議所12月度例会での各歴代理事長との1コマ
（当該年度で40歳を迎え卒業）

上：新田知事を訪問し「令和の万葉大茶会2021高岡大会」への支援を要請
下：そこたらじゅうライブ2021及びホームタウン実行委員会第30回記念スペシャルライブ
（実行委員長として企画運営全般に携わる）

べた2つの選挙でも、組織を割って出るような対立的な方法によらず、対話や意見の主張を通じた合意形成による改善・変更の方策を取るべきと判断しました。その上で、民主主義に基づく組織の意思決定に対し、党役員として、また、社会のルールを決定する権利、つまり、自治体の条例を提案する権利を持つ市議会議員として行動したものです。

なお、それぞれの選挙結果は報道の通りであり、私としては、起きてしまった分裂や敗戦などの一連の反省を踏まえ、初心忘れることなく、引き続き市民の皆さまの負託に応えられるよう、実直に活動に邁進する所存です。なお、特に高岡市政において、私が「敵対」「妨害」「闘争」「政局」を望み、そこに労力を費やすことを望む人間でないことは前述の通りであり、再度、皆さまに強くお伝えさせていただきます。

さて、前号からの1年余り、目前の有事である感染症、そして選挙の対応に当たっていただけではありません。皆さまには、一昨年12月の議会諸役員交代に伴い、議会会派「自由民主党高岡市議会議員会」と所属政党「自由民主党高岡市連合支部」の政務調査会長の職を拝命した旨はご報告させていただきました。その後、昨年12月の議会諸役員交代の時期で、引き続き政務調査会長の職を拝命し、まさに、私が目指す「政局より政策」で、議員活動に従事し、多くの仕事ことに取り組み、成果を挙げてきました。

その内容はSNS等、各媒体で報告していますが、ここに主要事項をお伝え致します。

1つは、高岡市議会の仕組みを抜本的に変えたことです。つまり、議会運営の完全電子化を主導し、実現したことです。本件は、私が「ICTを活用した議会運営について」の提案書を含めた、議会の電子化を図ることを求める要望書（案）を作り、所属会派の合意形成、そして他の5会派の賛同を取り付け、市議会の全6会派の理解と協力を得て、本年2021年4月に本格運用されたものです。これは、1889年4月に市制制度が施行されてから132年目で迎えた紙文化からの脱却であり、最も大きな成果と言えます。

2つは、会派の政調会長着任を踏まえ、委員の互選により就任した議会「広報広聴委員長」として、今年度の高岡市議会「議会報告会」を、直接参集方式によらないインターネット上において実施したことです。これは、富山県内及び高岡市議会史上初となる取り組みです。なお、政調会長に加えて広報広聴委員長も一昨年冬から2



R3.3.26



R3.6.1~



R3.5.13



R3.6.12

上：高岡YEG(商工会議所青年部)ガイダンス
(令和3年度会員開発委員会の副委員長として会の企画運営に従事)
下：JA高岡青年部西部支部の一員として、学校田植え作業に従事
(西条小学校の児童が田植えを行うための下準備)

上：YouTube配信 高岡市議会「議会報告会」
(広報広聴委員長として県内及び高岡市議会史上初のWeb上での開催に尽力)
下：自民党青年部・青年局全国一斉街頭行動
(県連青年局「幹事長」として県内各地で街頭演説)

期連続で務めさせて頂いており、昨年度(令和2年度)は、新型コロナの感染拡大で議会報告会の中止を余儀なくされた中で、今年度は先端技術を活用して行ったものであり、企画内容を委員長案として委員会に提示するところから、撮影、編集に至るまでの全てを担い、実現させたものです。なお、実施にあたって新たに「高岡市議会 Official YouTube」チャンネルを開設しましたので、ご登録頂ければ幸いです。

またこれ以外に、年間を通じた会派での「研修会」や政策を協議する「政調会」の開催、市当局への「予算要望」、既に5回要望を行った新型コロナ関連等の「市政課題への緊急対応」に加え、市議会本会議での「代表質問」を通じた政策提言を行って来ました。なお、代表質問が設定された令和2年3月、同年9月及び令和3年3月以外に、私が政調会長就任直後に迎えた令和元年12月定例会は代表質問の機会がありませんでしたが、御旅屋セリオへの市役所全面移転を提言するため、会派を代表する形で一般質問を務めさせて頂きました。

この他、自由民主党高岡市連合支部を挙げて取り組んだ、今春の高岡市長選挙候補者選考委員会の企画運営を担う中で、ネット配信を含めた公開討論会及び街頭演説会、候補者本人からのヒアリング、黨員アンケートの実施と分析に当たったほか、党推薦候補との政策協議にも尽力させて頂くなど、党の政務調査会長としての職務にも率先して取り組むなど、政務調査会長としての立場を最大限活かし、全力でその職務に邁進して来ました。

このように、年々歳を重ねてはいますが、それに比例して役職数・運動量・仕事量及び質も増加させる中で、着実に成果も挙げてきており、常日頃お世話になっております後援会や地域の皆さまに恥じることのない活動を続けています。

ただ、職務に邁進する中で、至らぬ点やご迷惑をおかけする点、あるいは新型コロナの影響も相まって、皆さまとの対話や報告に欠ける点があるとも認識しており、誠に申し訳なく思っておりますが、私に残された市議会議員の任期も持てる力の限りを尽くし、誠実かつ懸命に活動に邁進しますので、引き続きのご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、一日も早いコロナの収束、そして皆さまの益々のご健康とご多幸、ご活躍を祈念し、今号発行にあたってのご挨拶とします。

横田誠二



議会活動 REPORT①

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議会には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

令和元年12月定例会

【御旅屋セリオの今後と本庁舎全面移転を含めた、本市のビッグビジョンについて】

質問

残すところ3週間余りとなった本年。顧みると、いわゆる「令和元年梅雨前線豪雨等」や「令和元年8月から9月の前線等に伴う大雨」、そして台風第19号の暴風による災害が激甚災害に指定されるなど、自然災害の頻発及び激甚化が進んでいる。そして、市内・県内に複数位置する断層帯が引き起こす地震災害は、いつ起ことも分からない。

そこで本市では、地震対策の一環として市有施設の耐震化を進め、学校施設は昨年3月で耐震化率100%を達成し、洪水災害対策は平成18年に洪水ハザードマップを策定するなど、着実に防災・減災に取り組まれて来た。

しかし、平常時及び非常時に拠点となる市役所本庁舎棟は、耐震面で一部に強度不足があるため、過去の議会答弁等によれば、「耐震性を十分満たした施設の活用を検討しながら、大型公共施設の整備計画の中で耐震化等を検討していく」とされており、頻発する自然災害を踏まえて、ここにその進捗を伺う。

また、中央監視室や非常用電源の設置など、地下利用が市役所本庁舎棟で行われている中で、前述の洪水ハザードマップによれば、市役所本庁舎棟が位置する場所は0.5～1m未満の浸水想定区域だが、この点についても所見を伺う。

なお、この洪水ハザードマップの件は、国で新たな浸水想定区域図を公表しており、その対応も求められている。



自然災害が頻発・激甚化する中、地震と洪水時に被害想定があり、対策が求められる「市役所本庁舎棟」

答弁

市役所本庁舎は、耐震性能を満たしていないので、その対応について方針を決定していく必要があり、移転改築や減築等、その工法や工事費などについて調査・研究を行っている。

公表済みのハザードマップでは、本庁舎は50cm以上1m未満の浸水を想定しているため、万が一、浸水被害が発生した場合は、電源機能が失われ、行政機能に支障が生じることになる。こうしたことから、本庁舎地下にある、非常用電源設備等の機能を有する中央監視室について、非常用の緊急用電源の確保、別棟に移築する考え方等、研究・検討していく。

仮に浸水被害が想定される際には、平成29年に策定した高岡市業務継続計画に従い、代替庁舎に行政機能を分散し、業務を継続することとしている。

質問

ここまで直面する本市政課題のうち、自然災害への対応に係る質問を進めて来たが、目下、一丁目一番地として進めるべきは「財政健全化への取り組み」であるが、先の質問の件を含む防災対策に要するハード整備を進め過ぎれば、その(財政健全化の)実現は逆に遠のく。

その一例として、私が本年3月の一般質問で取り上げた数値を引用すれば、2005年に本市の人口がピークを迎えた中、少子化・人口減による学校規模適正化、教育環境改善の進展を見ないままに、学校施設の耐震化に、2002年度～2017年度の16年間だけで200億円以上のお金を投じて来たこと、それが今日の財政状況を招いた面があり、重要なことは、大局的・先見の見地に立った施策の遂行、財政規律を意識した行財政運営に当たることだ。

そうした中、現在、市では本市の都市計画に関する基本的な方針である「高岡市マスタープラン」を昨年12月に策定し、「既存ストックを利活用したコンパクトな都市づくりの推進」、さらには、都心軸・都心エリアを設定した都市機能等の集約を掲げたところだが、この考えは、時代が昭和から平成、令和となった今日、都市管理コストを縮減し、簡素で効率的な自治体経営を進めるために重要かつ不可欠であり、これを迅速かつ大胆に進める必要がある。

そこで、この都市機能の集積を如何に遂行していくのか伺う。

答弁

本市では、今後、持続していく都市とするための考え方をまとめた都市計画マスタープランを策定した。

この計画では、鉄軌道やバス路線、社会基盤などの既存ストックが充実している高岡駅周辺に高次都市機能を集約することで、効率的な都市経営や行政コストの縮減にも繋げるものとしている。

これら、まちづくりには多様な主体が連携することが不可欠であり、これまで、高岡駅前東地区では、地元住民、民間事業者、行政によるまちづくり協議会が設置され、それぞれの役割を分担することで民間主体の開

発が進んできた。

今後は、この流れを受け継ぎ、新たな展開を図るためにも、まちづくへのそれぞれのプロジェクトにふさわしい手法として、リノベーションまちづくりをはじめ、用途地域の見直しなど、行政手続きの見直しや、公共施設整備の際のPFIの導入など、更なる民間活力の導入などについても考慮する必要があると考えている。

これらを推進するにあたっては、これまで以上に、市民や企業、行政等が連携して互いに知恵を出し合い、地域の課題の解決に取り組む「共創のまちづくり」を進めることで、本市の目指す将来都市像を実現したい。

質問

続いて、都市機能を本市の中核となる都心軸・都心エリアへと集積していく中で、それを成す「高岡駅周辺ゾーン」には、交通結節点である「高岡駅」を始め、駅前末広町通り等に広がる商店街、そして市街地再開発事業で建設した「御旅屋セリオ」が含まれることから、特に重要な区域であり、本市活性化にはその充実強化が欠かせない。

こうした中で本年4月発表があった御旅屋セリオからのキーテナント高岡大和の撤退、それに呼応するように中心商店街における店舗の退店・閉店が相次いでおり、この問題を放置することで周辺の個店、商店街への影響はさらに波及し、一層の悪化が懸念される危機的状況となっている。

ご案内の通り「御旅屋セリオ」は、複合商業施設として約4半世紀に渡り、本市のみならず県西部の小売商業の中心として、市民・県民の豊かな生活を支え続けてきた。

加えて、同施設に人を呼び込むことで街なかの賑わい創出、周辺店舗への波及効果をもたらし、文字通り中心市街地の牽引役を担ってきたところであり、この度の御旅屋セリオの問題を放置することはすなわち、高岡市の「顔」であるタカマチの衰退を意味するもので、この直面する課題に遅滞なく全力で取り組まねばならない。

この重要性を考慮しつつ、御旅屋セリオの全フロアへの入居者を確保するに当たって、私を含めた会派一同は、家賃収入が見込める民間誘致を最善としている。その中で市が検討している市役所の一部移転については、これまで市町村合併を行いながら行政効率を高めてきたことを踏まえ、積極的でないが、街なかの賑わい創出に向けた先導的役割を果たすためにはやむなしとの立場を取っている。さらに、一定期間が経過しても状況の進展が無い場合には、御旅屋開発の経営や市の財政に与える影響を踏まえ、速やかに二次的対応策を講ずる必要があるとの考えでいる。

また、今般行った最初の質問の通り、市役所本庁舎棟が耐震面で一部強



都市機能を集積していく中で、キーテナントが撤退し、早急な対応が求められる高岡駅周辺ゾーン内の「御旅屋セリオ」

度不足があると共に、洪水ハザードマップの浸水想定区域内であること。さらに、約10年後には築50年を迎えることに加え、その次に行った質問の通り、都市管理コストの縮減、持続・発展可能な自治体経営には都市機能の集積が必要であること。これらのことから、御旅屋セリオへの民間誘致に係る、二次的ないし、そう遠くない将来的構想として、「セリオ等への市役所本庁舎棟の全面移転」を提案するものであり、当局の所見を伺う。

なお、市役所本庁舎棟の全面移転に伴い、公共交通の利用促進、職員及び市民が集うことでの街なかへの市場形成、そのことによる周辺商店の活性化、あるいは官民が各々経営する駐車場の利用率向上等、様々な効果が期待される。

さらに補足として、市役所の「庁舎棟」・「議会棟」・「車庫棟」の3棟の総延床面積は約19,100㎡である一方、御旅屋セリオの延床面積は約28,500㎡と十分な面積があることや、例えば「栃木県栃木市」では商業施設の撤退跡を庁舎に活用した先進事例があるなど、様々な条件や事例を勘案頂ければと存ずる。

ちなみに、全面移転としたセリオの語尾に「等」を付したのは、現在も高岡駅前東地区の整備が進むなど、時の経過と共にまちの情勢は日々変化すると共に、今定例会で電子申請等を推進する条例提案がなされている通り、行政の運営方法も日々変化するを踏まえ、セリオへの移転を我々会派提案の基本としながら、その周辺も含むこととし、「高岡駅周辺ゾーンを含めた都心エリアへの移転」を想定したものの。

以上、様々なことを申し上げたが、時間及び財源は有限であり、まちを迅速かつ劇的により良く変化させるには小手先の対応でなく、思い切った施策の遂行が必要であるとの認識のもと、答弁頂くようお願いする。

答弁

人口減少社会を見据え、公共施設再編や都心軸への都市機能の集約化など、将来にわたって持続可能な行政運営を図り、コンパクトなまちづくりを推進するための拠点として御旅屋セリオを位置付けている。

このため、中心市街地の中核を占める御旅屋セリオの灯を消してはならないと考え、多様な交流や賑わいを生み出す場づくりを進めるため、イニシアティブをとって必要な措置を講ずることとしている。

御旅屋セリオ等に行政機能を移転させてはとの提言については、現在の庁舎について、耐震化等の課題は認識しているが、まずは、経済界とも連携して民間テナントの誘致を進め、セリオタウン構想の実現に努めたいと考えるが、今後、セリオに整備を予定している交流機能など、配置される公益機能の関連で、その効果的発揮のため必要な行政機能の一部を移転することについて検討したい。



地域活動 REPORT②

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、議会外でも様々な活動を行っています。ここではその内容についてお知らせします。



R2.4.14 ホームタウン実行員会総会
(第30回ホームタウン実行委員長に就任)



R2.5.25 議会会派役員で、新型コロナウイルス感染症の追加措置について市へ要望
(会派政調会長として要望書作成)



R2.7.29 議会会派役員で、新型コロナウイルス感染症のさらなる対策を求める要望書を市へ提出。コロナ関連で計3回目の要望（会派政調会長として要望書作成）



R2.9.13 自民党富山県第三選挙区支部党員大集会
石破茂候補と語る会
(第三選挙区青年部長としてガンバローを主唱)



R2.10.3 (公社)日本青年会議所北陸信越地区協議会「北陸信越地区フォーラムon WEB」の様子
(会務担当副会長として大会総括)



R2.10.10~11 第39回全国城下町シンポジウム高岡大会にて（大会主管の高岡JC直前理事長として参画）



R2.10.11 高岡青年会議所創立50周年記念式典・祝賀会（直前理事長として参画）



R2.11.11 高岡商工会議所青年部11月度例会
(例会を担当した委員会メンバーとの集合写真)



R2.11.14 ありがとうでつながる国境なき海岸清掃
(国境なきUNDOKAI実行委員会の監査として参画)



R3.1.12 歴代実行委員長と振り返る「ホームタウン実行委員会」第30回記念特別ラジオ収録（実行委員長として歴代実行委員長等と対談）



R3.2.7 第16回高岡市民体育大会スキー・スノーボード競技会
(高岡市スキー連盟副会長として大会運営者及び選手として参画)



R3.2.21 そこたらじゅうライブ2021
(市内の飲食店等全11会場で実施)



R3.4.25 高岡市長選に伴う、自民党推薦候補予定者米谷和也氏との街頭演説
(党高岡市連政調会長として参画)



R3.5.20 ICTを活用した議会運営に係る県及び富山市議会からの視察 (高岡市議会の電子化を主導した実績から議会を代表し対応)



R3.6.13 第16回高岡市民体育大会相撲競技



R3.2.24 小泉進次郎環境大臣を講師に招いての「自民党富山県連青年局執行部役員SDGs勉強会」(オンラインを活用して開催)



R3.5.9 高岡市長選に係る、元文部科学大臣・衆議院議員「馳浩」氏との街頭演説



R3.5.23 自民党富山県連青年局「第9回公募提案型政策コンテスト」プレゼンテーション(副局長として総評を行う)



R3.8.4 (公社)日本青年会議所と連携し、「自治体向けデジタル化推進セミナー」を開催。また、それを踏まえ、デジタル化推進等に関する提案書を市に提出



R3.3.17 令和2年度高岡青年コミュニティ会議講演会(新型コロナ対策として、Web活用を図るなど、議長として企画から運営までの全般を担う)



R3.5.12 2年間副局長を務めた、自民党富山県連青年局の執行部役員会



R3.5.24 議会会派役員で、新型コロナワクチンの円滑な接種の推進についての要望書を市長及び議長へ提出(会派政調会長として要望書作成)



R3.8.5 議会会派役員で、新型コロナウイルス感染症のさらなる対策を求める要望書を市長及び議長へ提出(会派政調会長として要望書作成)



トピックス REPORT③

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題（トピックス）があります。
ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

道路改修



整備状態が悪かった下窪地内の側溝を、
内水害対策等のため改修

自治会公民館建設支援と 道路改修



地域コミュニティ強化等に向けて、
内免地内の自治会公民館整備を支援すると共に、
交通安全や内水害対策等のため、側溝を整備

道路改修



内水害対策等のため、
波岡地内道路の改修及び
雨水排水機能を整備

役員就任

- 自由民主党富山県第三選挙区支部青年局・部 青年部長
昨年5月の総会において、青年部長に就任
- 公益財団法人高岡市体育協会 理事
昨年5月の書面決議による令和2年度定時評議員会
において、理事に就任
- 遼寧ファン倶楽部 会員
昨年8月の設立総会において、会員に就任
- 万葉大茶会実行委員会2021 実行委員長
昨年10月に、東京都での「令和の万葉大茶会」
に向けて「万葉大茶会実行委員会」の副実行委員長に就任。
本年5月の第1回全体会議において、
「万葉大茶会実行委員会2021」の実行委員長に就任。



- 高岡青年会議所シニアクラブ 事務局
昨年12月の臨時総会において会員に、
本年2月の定時総会で事務局に就任
- 茶道裏千家淡交会高岡青年部 会員
本年2月の定期総会において、会員に就任
- 自由民主党高岡市連合支部青年局 監事
本年2月の役員会において、監事に就任
- 令和3年度高岡商工会議所青年部 副委員長
本年4月の定時総会において、
会員開発委員会の副委員長に就任
- STG.FC (South Takaoka Gunners FC) 相談役
本年4月の書面報告において、相談役に就任
(※STG.FCは、高岡市内外の小中学生で構成するサッカーのクラブチーム)
- 自由民主党富山県支部連合会青年局 幹事長
本年6月の書面決議による定期総会において、幹事長に
就任



- 高岡市議会関連の各役職
昨年12月の高岡市議会定例会における議会諸役員交代
に伴い、次の役職に就任。
 - ・議会運営委員会 副委員長
 - ・総務文教常任委員会 委員
 - ・港湾・公共交通対策特別委員会 委員
 - ・広報広聴委員会 委員長
 - ・議会改革検討委員会 委員
 - ・総合計画審議会 委員
 - ・土地開発公社 参与
 - ・高岡地区広域圏事務組合議会 議員
 - ・高岡地区広域圏事務組合議会運営委員会 委員